

かんざき し

神崎市学校給食共同調理場

松 永 充 (まつなが みつる) 日本調理機株式会社 プロジェクト設計部

家庭用でIHクッキングヒーターの普及が進むなか、業務用でも電化厨房に注目が集まってきている。病院、福祉施設、給食センター、飲食店…厨房環境の改善やコントロールの容易さなど、より良い厨房を目指した取り組みが進んでいる。これら電化厨房の事例をシリーズで紹介していく。
今回は「給食センター」の事例を取り上げる。

1. はじめに

神崎市は、佐賀県の東部に位置し、平成18年3月に神埼町、千代田町、脊振村の3町村が合併（新設合併）して誕生、面積125.01km²、総人口は32,476人（推計人口、平成24年7月1日）。

同市は、吉野ヶ里遺跡を始め考古学的にも重要な遺跡が多数出土されており、太古の時代から人々が生活を営んでいた地域であると推測されている。また、室町時代の豪族の城館跡を保存した横武クリーク公園など、歴史的な史跡も多く、様々な郷土芸能や伝統行事等も継承され、歴史的文化が形成されてきた「自然と歴史と人が輝く未来都市」である。

この神崎市において、神崎市学校給食共同調理場は、米飯完全給食方式を採用したオール電化の施設として、前述の横武クリーク公園に隣接した敷地に、平成23年3月建設工事を開始、平成24年7月竣工、同年2学期より給食提供を開始した。



図1 神崎市学校給食共同調理場 外観

2. 施設概要

名称	神崎市学校給食共同調理場
所在地	佐賀県神崎市神埼町横武 1501 番地
敷地面積	5,289 m ²
建物面積	1階 1,635 m ² 2階 177 m ² 計 1,812 m ²
構造	鉄骨造 2階建
竣工	平成24年8月31日
工期	平成23年3月16日～平成24年8月31日
設計管理	株式会社 山下設計 九州支社
施工	建築:株式会社 中野建設・株式会社 ニシムラ 建設共同企業体 設備:栄城設備工業株式会社 電気:株式会社 佐電工 厨房:株式会社長崎日調、 日本調理機株式会社

3. 給食概要

食数	3,200食
配送対象	小学校; 6校 中学校; 2校
調理内容	米飯・主菜・副菜・汁物
使用食器	PEN樹脂食器 (ポリエチレンナフタレート)
使用食缶	シャトルコンテナー (高性能断熱食缶)
食器洗浄方式	自動立体浸漬槽+自動供給・受取装置付 システム洗浄機